大野町防災マップ 保存版

平成 30 年 7 月改訂
令和 4 年 11 月一部修正

<お問い合わせ先> 大野町役場総務課
〒501-0592 大野町大字大野80番地 TEL (0585)34-1111

洪水ハザードマップ 木曽川水系 揖斐川

洪水ハザードマップの見方（凡例）

洪水時の想定浸水深 ➡ 浸水深の目安

10.0m 以上の区域	
5.0m ～ 10.0m の区域	
3.0m ～ 5.0m の区域	
0.5m ～ 3.0m の区域	
0.5m 未満の区域	
氾濫を想定した河川	
その他の主要河川	

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）	
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）	

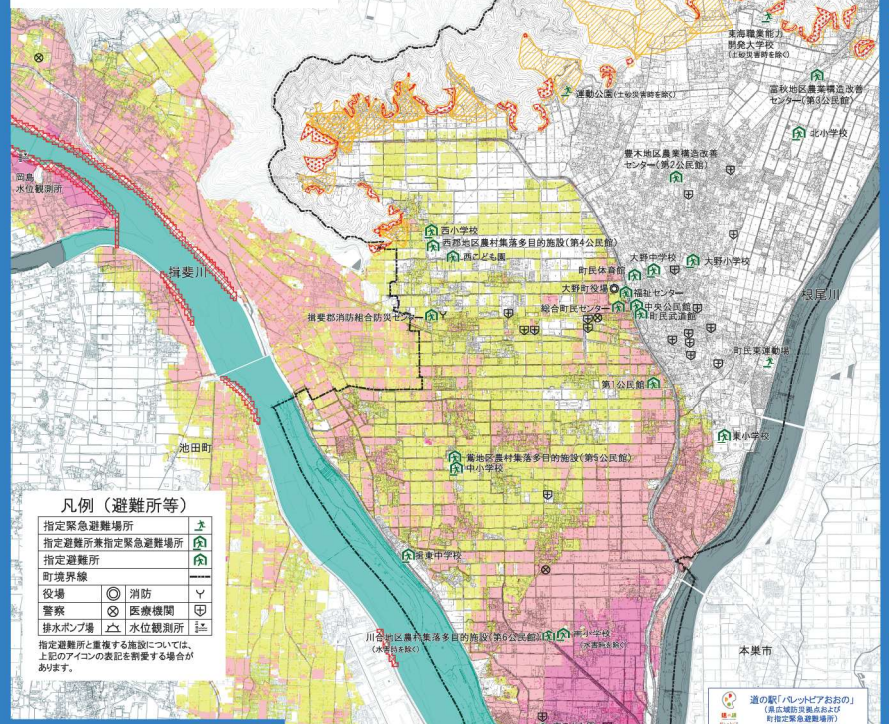
➡「早期の立退き避難」に備える必要があります。

凡例（土砂災害）

土砂災害特別警戒区域	
土石流	
急傾斜地の崩壊	
土砂災害警戒区域	
土石流	
急傾斜地の崩壊	

※土砂災害発生時に利用できる指定避難所・指定緊急避難場所の位置については、裏面の土砂災害ハザードマップで確認できます。

浸水深

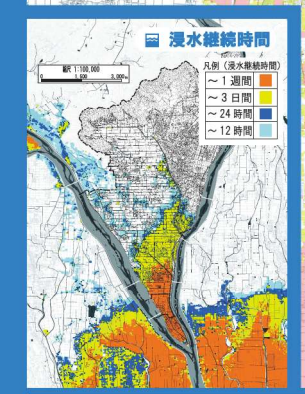


凡例（避難所等）

指定緊急避難場所			
指定避難所兼指定緊急避難場所			
指定避難所			
町境界線			
役場	◎	消防	Y
警察	⊗	医療機関	
排水ポンプ場		水位観測所	

指定避難所と重複する施設については、上記のアイコンの表記を割愛する場合があります。

浸水継続時間



縮尺 1:25,000

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 29 情使、第 1367 号）」（東川については、大野町都市計画基本図を使用）

(1) この図は、木曽川水系揖斐川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深、浸水継続時間等を表示しています。
(2) 浸水深及び浸水範囲は、揖斐川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により揖斐川が氾濫した場合の浸水の状況をそれぞれシミュレーションにより予測したものです。
(3) 浸水継続時間は、浸水深が 0.5m を超過してから 0.5m を下回るまでの時間を表しています。
(4) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していません。
このため、浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
(5) また、同種の降雨があった場合に、河川堤防の決壊または洪水氾濫流により本造・非本造の家屋倒壊のおそれがある区域、河岸侵食により木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域についても表示しています。
これらについても、一定の条件の下で算定したものであり、これらの区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。
(6) これらの想定は、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所および木曽川下流河川事務所が平成 28 年 12 月に作成したものを使用しています。
(7) シミュレーションの前提となる雨の強さは、2 日間総雨量 667mm（概ね 1,000 年に 1 回程度）としています。

指定避難所・指定緊急避難場所

避難所の特徴

指定緊急避難場所	災害から命を守るために緊急的に避難する場所です。
指定避難所兼指定緊急避難場所	避難したみなさんが災害の危険がなくなるまで一定期間滞在する、または災害で自宅に戻れなくなった方が一時的に滞在する施設です。
指定避難所	

水害時は使用できません　土砂災害時は使用できません

第 1 区			
町民体育館	☎32-2462	総合町民センター	☎32-1111
中央公民館	☎34-1222	第1公民館	☎32-3810
町民武道館	－	東小学校	☎34-3100
福祉センター	☎34-2130	町民東運動場	－

第 4 区		第 2 区	
西小学校	☎32-0359	大野中学校	☎32-1521
西こども園	☎32-1043	大野小学校	☎32-1525
西部地区農村集落多目的施設（第4公民館）	☎32-2446	豊地区農業構造改善センター（第2公民館）	☎32-0111
揖斐郡消防組合防災センター	☎32-0119	運動公園	☎35-0120

第 5 区		第 3 区	
中小学校	☎32-0576	北小学校	☎34-1200
揖東中学校	☎32-0503	富秋地区農業構造改善センター（第3公民館）	☎32-2476
富地区農村集落多目的施設（第5公民館）	☎35-2585	東海職業能力開発大学校	☎34-3600

第 6 区			
南小学校	☎35-2001	下座倉公民館	－
南こども園	☎35-2002	西濃環境整備組合	☎32-4153
川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	☎35-2744	道の駅「パレットピアおおの」（県広域防災拠点）	☎34-1001

避難方法判断フロー

的確な避難方法を確認してください

的確な避難方法を考えましょう！

防災マップで自宅の位置と浸水の深さを確認

あなたの家は：氾濫による倒壊の危険がある地域ですか？

- 河岸侵食内または氾濫流内で木造 → 指定緊急避難場所に避難（または自宅以外の安全な場所に避難）
- 氾濫流内で木造以外または対象外 → 倒壊の危険度小 下に示す表に従って避難

浸水の深さ	1 階建て	2 階建て	3 階建て
0.5m 未満	自宅待機も可※	自宅待機も可※	自宅待機も可※
0.5m ～ 3m	指定緊急避難場所に避難	2 階へ避難も可※	2 階以上へ避難も可※
3m ～ 5m	指定緊急避難場所に避難	指定緊急避難場所に避難	3 階以上へ避難も可※
5m 以上	指定緊急避難場所に避難	指定緊急避難場所に避難	条件によります

※家の周りの浸水の深さと建物の高さで避難方法が異なります。『自宅待機や2階、3階の避難も可』の場合も必要に応じて『指定緊急避難場所に避難』してください。また、指定緊急避難場所においても安全な階に避難してください。

避難情報の発令と避難行動

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保※1
～警戒レベル 4 までに必ず避難！～	
4	避難指示※2
3	高齢者等避難※3
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	早期注意情報（気象庁）

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル 5 は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル 3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

洪水予報の危険度レベルと水位

岡島水位観測所	危険度レベル	山口水位観測所
洪水発生	すでに氾濫が発生している状態 レベル5 氾濫発生情報	洪水発生
氾濫危険水位 = 4.10 m ▼	いつ氾濫してもおかしくない状態 レベル4 氾濫危険情報	= 氾濫危険水位 ▼ 3.90 m
避難判断水位 = 3.40 m ▼	避難勧告等の発令判断の目安とする水位 レベル3 氾濫警戒情報	= 避難判断水位 ▼ 3.50 m
氾濫注意水位 = 1.30 m ▼	水防団の出動の目安とする水位 レベル2 氾濫注意情報	= 氾濫注意水位 ▼ 2.20 m
水防団待機水位 = 0.50 m ▼	水防団が待機の目安とする水位 レベル1	= 水防団待機水位 ▼ 1.40 m

過去に大野町で発生した主な水害

平成 14 年 7 月洪水では、根尾川流域の観測所において、最大時間雨量 111mm 総雨量 562mm を記録し、根尾川の山口地点では、戦後最高水位が記録されました。

大野町下座倉地内 平成 14 年 7 月（台風 6 号）

大野町電話（更地）前内 平成 14 年 7 月（台風 6 号）

洪水ハザードマップ 木曽川水系 根尾川

平成30年7月改訂の「大野町 防災マップ」について

この防災マップは、台風や大雨によって揖斐川または根尾川が氾濫した場合（本マップの説明文を参照）に想定される浸水区域、浸水深や土砂災害（裏面を参照）の危険区域と災害時の避難場所などを示したものです。

大野町の他のハザードマップ

大野町のハザードマップは、このマップのほかに「地震防災マップ」などがあります。
このマップとあわせて災害時の危険箇所や危険から命を守るための情報を町のホームページなどで入手してください。

洪水ハザードマップの見方（凡例）

洪水時の想定浸水深 ➡ 浸水深の目安

5.0m ～ 10.0m の区域	
3.0m ～ 5.0m の区域	
0.5m ～ 3.0m の区域	
0.5m 未満の区域	
氾濫を想定した河川	
その他の主要河川	

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）	
家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）	

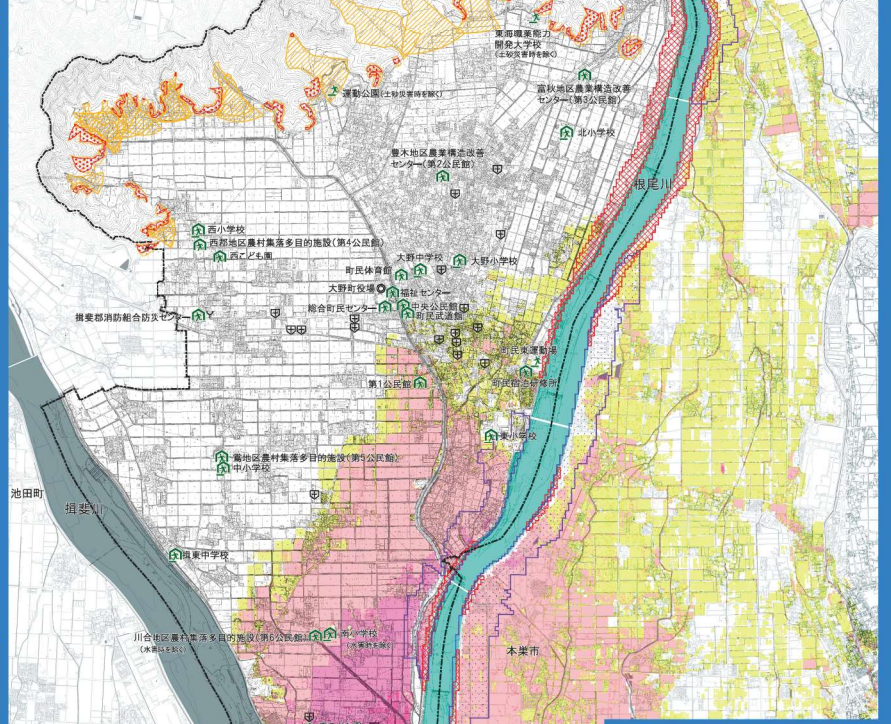
➡「早期の立退き避難」に備える必要があります。

凡例（土砂災害）

土砂災害特別警戒区域	
土石流	
急傾斜地の崩壊	
土砂災害警戒区域	
土石流	
急傾斜地の崩壊	

※土砂災害発生時に利用できる指定避難所・指定緊急避難場所の位置については、裏面の土砂災害ハザードマップで確認できます。

浸水深

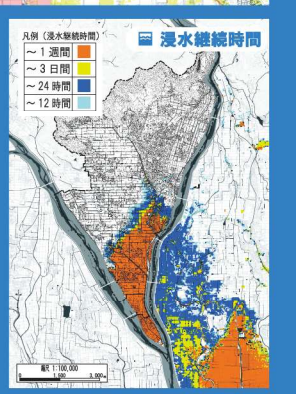


凡例（避難所等）

指定緊急避難場所			
指定避難所兼指定緊急避難場所			
指定避難所			
町境界線			
役場	◎	消防	Y
警察	⊗	医療機関	
排水ポンプ場		水位観測所	

指定避難所と重複する施設については、上記のアイコンの表記を割愛する場合があります。

浸水継続時間



縮尺 1:25,000

0 500 1,000 1,500 2,000 2,500 3,000m

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 29 情使、第 1367 号）」（東川については、大野町都市計画基本図を使用）

(1) この図は、木曽川水系根尾川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深、浸水継続時間等を表示しています。
(2) 浸水深及び浸水範囲は、根尾川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により根尾川が氾濫した場合の浸水の状況をそれぞれシミュレーションにより予測したものです。
(3) 浸水継続時間は、浸水深が 0.5m を超過してから 0.5m を下回るまでの時間を表しています。
(4) なお、このシミュレーションの実施に当たっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していません。
このため、浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
(5) また、同種の降雨があった場合に、河川堤防の決壊または洪水氾濫流により本造・非本造の家屋倒壊のおそれがある区域、河岸侵食により木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域についても表示しています。
これらについても、一定の条件の下で算定したものであり、これらの区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。
(6) これらの想定は、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所および木曽川下流河川事務所が平成 28 年 12 月に作成したものを使用しています。
(7) シミュレーションの前提となる雨の強さは、2 日間総雨量 667mm（概ね 1,000 年に 1 回程度）としています。